

生活機能の躍進

健康生活館「民間参加公共建設案件」が業績卓抜賞受賞

台南園區の「南科健康生活館民間委託經營參加」計画は行政院民間参加公共建設推進委員会発表の2006年度「民間参加公共建設案件」事業チーム業績卓抜賞を受賞、事業チームは賞金及び99.9%純金のメダルを獲得した。科学園區初の民間参加公共建設促進法導入による民間企業が經營管理するスポーツレジャー施設の案件は、きわめて指標としての意義が深い。

南科健康生活館は2007年9月にスポーツレジャー施設と飲食サービスの全面提供を予定しており、園區従業員たちには退勤後まず身体を動かし、汗を流してから帰宅してもらう。



行政院蔡英文副院長(左)授与の「業績卓抜」賞を受け取る南科管理局代表鄭秀絨組長(5月4日)

コミュニティーセンター「民間参加公共建設案件」外部委託契約及び業績卓抜賞受賞

南科管理局はコミュニティーセンターの全体建築を「家の感覚」を目標とし、コミュニティーの公益と台南園區コミュニティーセンターの長期運営のどちらも考慮しながら、民間参加經營促進モデルを運用し、運営企業の導入に成功、2006年2月16日華園管理顧問株式会社との「南科コミュニティーセンター委託民間經營契約」に調印した。

続く健康生活館の委託經營成功と受賞の後、再び華やかに登場、2006年度行政院民間参加公共建設推進委員会の「民間参加公共建設案件」事業チーム業績卓抜賞を受賞した。



南科コミュニティーセンター經營委託契約記念撮影(2月16日)

聖娜多堡オープン

健康・おいしさ・便利さを味わえるように、南科台南園區に2006年新たに有名飲食店が進駐した。10月18日聖娜多堡南科店は盛大にオープンし、駐在従業員及び商談に來訪したビジネスマンに優良な飲食サービスを提供している。



聖娜多堡オープン当日の黒山の人だかり(10月18日)

違反車両のレッカー移動執行

台南園區で日に日に深刻になる駐車違反現象を改善するため、警察中隊は2006年2月3日より違反車両のレッカー移動及び保管作業の執行を開始した。

違反車両は南科七路停9公共駐車場のレッカー移動車保管場に運ばれ、レッカー移動執行区域は台南園區内の各公共道路、レッカー移動車の受け取り業務時間は原則として毎日8時から20時、必要に応じて延長し、園區のスムーズな交通及び道路通行安全品質のアップを維持していく。

高雄園區従業員住宅貸し出し

高雄園區の従業員に快適な住居環境を提供するため、南科管理局は28億円の資金を投じて第一期従業員住宅を建設し、2007年初めより貸し出しを始める。

この住宅区には独身宿舍計590部屋(301部屋の一人部屋と289部屋の二人部屋を含む)・48軒の家族宿舍(37坪)・12軒の主管宿舍(57坪)がある。三つの居住空間は完全に独立しており、お互いに干渉されることなく、いずれも地上12階地下1階の建物で、地下室が互に通じており、381台の自動車駐車スペース及び413台の二輪車駐車スペースを提供している。



高雄園區第一期従業員住宅外観

熱い近隣親睦

南科新港堂小廟が大廟に

南科台南園區は1997年の開発開始以来、園区内に総計10軒の小廟が点在しており、信者及び地域住民の陳情を反映してそれぞれに移転を希望していたが、寺廟の数が少なくないので、集中して安置するという意見が出された。それから約八年の努力を経て、「小廟が大廟に、小神が大聖に」といえる神社仏閣「新港堂」が2006年9月8日にととう完工し開放された。南科管理局による促進の下、「新港堂管理委員会」が成立し、後々まで永久に管理していく堅実な基礎を定めた。

「新港堂」は宗教と文化が結合した文化館として設計され、二階の「新港堂」には神々が祭られており、一階は芸術文化活動センターとなっており、地域に新しい芸術文化の展示上演場所を提供している。



台南園區公共駐車場位置及び駐車禁止ゾーン見取り図



右より新港堂管理委員会陳樹傳委員長、安定郷王寶民郷長、南科管理局陳俊偉局長、新市郷鄭枝南郷長、警察中隊魏堂利中隊長、奇美電子許錦發支配人、新港堂前にて祈祷(10月10日)

新しい道路に懐かしい地名

台南園區二期基地公共工事はすでに続々と完成しており、道路もまた開発進度に合わせて開拓している。南科管理局は完成道路命名の法手続きに従い、いずれも大小道路路線の旧地名を踏まえて、烏橋中路、三抱竹路など名づけている。民衆は南科の開発のおかげで、先人の歴史をだんだんと忘れていくことも無いであろう。

創業の良きパートナー

人材を求めている南科の企業は、周辺県市政府が奮闘しタイアップして就業を提供する対象である。2006年7月22日、南科管理局・台南県政府・雲嘉南就業サービスセンターが合同で、台南園區西拉雅広場にて就業求人博覧会を開催した。当日現れた人ごみは少なく見積もっても25,000人を超えており、現場の求職者は8,000から10,000人に達した。5月26日、高雄県政府労工局と南科管理局が高雄岡山農工にて開催した「ここに仕事有り-2006高雄県職訓、就業連合博覧会」は、参加求人企業が60社を超え、5,000件近い就業機会を提供した。

このほかに、南科管理局も積極的に園區周辺の住民の創業に協力しており、4月23日・4月29日・5月6日に、高雄県政府と合同で3回の高雄園區周辺住民創業座談会を開いた。会の中で、特別に幼稚園安親班(学童保育所)・自動車洗車メンテナンス・ショッピングモール及び園區同業組合代表の大億科技株式会社など各業界で成功した創業者の経験談を話してもらい、創業成功の経験を分かち合った。

球技大会で園内も園外も親しく

南科杯近隣親睦球技大会と趣味コンテストは堂々第7回を数え、2006年7月31日から挙行され、合計で5種の球技大会及び6種の趣味コンテストが開かれた。出場応募チームは過去のチーム数を上回り、参加人数は2,500人を超え、たいへんにぎやかで、ゲームも熾烈な争いとなった。

大会日程は二ヶ月近くにわたり、心身の健康に有益であり、また周辺住民とも容易に友情を育むことができた。このことに鑑み、南科管理局は毎年さらに豊富で多彩な競技種目を企画し、近隣親睦球技大会は一年一年すばらしく、一年一年面白くなっている。

ほかに、高雄園區でも2006年12月23日から24日に、先期球場にて2006年高雄園區杯近隣親睦球技大会が開催され、園區従業員と周辺近隣住民に余暇を利用してスポーツをする習慣を培った。



南科杯昔懐かしい趣味コンテスト現況(7月31日-9月16日)



南科管理局陳俊偉局長(中)及び来賓と一緒に第7回南科杯聖火に点火(7月31日)

ペイントボール大会は目新しく好評

ペイントボールはスポーツと娯楽効果を兼ね備えており、最近新しく注目されている人気スポーツ種目である。園区内企業の心の交流を促進するため、従業員のレジャー生活を豊かにするため、南科管理局は2006年8月27日9時から17時まで、黒鷹戦略ジャングル複合式ペイントボールテーマパークにて「2006年南部科学工業園区従業員ペイントボール大会」を開催、園区従業員が目新しく好評であるジャングルバトルゲームを自ら楽しんだ。



ペイントボール大会—ジャングルでの戦いを体験(8月27日)

日系企業の友人たちが台湾の友情を実感

遠い外国で働いていると、友人が必要であり、祭日や休日は特に寂しく感じるものだ。2006年、南科管理局は日系企業の友人たちとの交流イベントを3回開催した。2006年1月11日南科管理局前局長戴謙氏(現国科会副委員長)及び大億企業集団呉俊億董事長が特別に席を設け、暖かい忘年会を開催し、異国暮らしの日本人ゲストたちも台湾にて楽しく新年を迎えることができた。

第2回は元宵節を選び、日本人従業員に台湾の重要な民俗イベントを理解してもらい、中日文化交流を促進するため、特別に彼らを国際的に有名な塩水のロケット花火観賞に招待した。一年に一度きりなので皆喜び勇んで応募し、参加者はまさに台湾で最も熱狂的な民俗カーニバルを経験したといえる。

7月21日は南科管理局行政ビル一階にて「台日文化交流—阿波踊りナイト」を開催した。奇美・住華・琳得科・国際日東・大億・西虹電子・頂正・斯坦雷・大福など各大企業の董事長と日本人駐在員が参加したほか、南部地区企業の日本人及び園区内企業の高級主管も協力して盛り上げた。



日系企業の友人たちが塩水のロケット花火の熱気と魅力を満喫(2月12日)



台日文化交流—阿波踊りナイト(7月21日)



全体模範従業員集合写真(4月27日)

優秀従業員表彰と従業員音楽パーティー

園区の優秀な従業員を表彰するため、南科管理局と奇美電子・統一park17モールは2006年4月27日夜7時、統一park17モール屋外円形広場にて「2006南科優良従業員表彰と従業員の夜音楽パーティー」を開催した。

2006年優秀従業員に選ばれた人数は2005年の35名から40名に増加し、計16社の企業従業員が選ばれ、勤務年数はいずれも5年以上であった。その中で、台積電の蔡伯岳氏はさらに2006年全国模範従業員の栄誉にも輝いた。



独身者親睦会参加者が手を取ってレールの上を歩く(11月4、5日)

日月潭にて南科独身者親睦会

「日月潭で決めました—2006南科独身者親睦イベント日情月縁潭情の旅」が11月4・5日の二日間、日月潭にて挙行され、計36組の独身男女が参加した。その中で3組のカップルが誕生し、皆の祝福を受け、心を込めて準備された多くの賞品も獲得した。

中秋の月は南科園、人々は団欒

「月は南科園」中秋節懇親会が2006年10月4日開催された。当日の内容は十分に見ごたえがあり、生き生きとして笑いを誘う猿軍団のステージ・不思議と驚きがいっぱいの四川オペラのマスク早変わり・マジックショー・さらに実力派歌手施文彬及び黃小琥のLiveステージも行われた。

懇親会では多彩で豊富なステージのほかに、会場周辺に南台湾各地のグルメ屋台がセッティングされ、来場者は食べながら出し物を観賞し、千人近い園区従業員と近隣住民が共に暖かさや笑い声と熱気に溢れた中秋節の団欒の夜を過ごした。

また高雄園区では10月3日夜、標準工場前芝生広場にて「秋日爵醒」中秋節音楽会を開催し、ひとしきりの秋風に、優美な楽器の音色が寄り添い、園区の夜に抒情的な雰囲気が溢れた。



マジシャンの不思議なマジックを舞台上で体験(10月4日)

南科先史館の促進と新書発表会

台南県政府は2006年10月26日に南科管理局行政ビルにおいて「国家級南科先史文化博物館の促進と《先民履跡南科考古發現專輯》新書発表」記者会見を行った。国家級南科先史文化博物館の促進以外に新書の発表をして、台南県の豊富な先史文化の遺留を広く知らしめた。

《先民履跡南科考古發現專輯》は南科台南園区内で今までに発見された考古遺跡を研究対象としており、中央研究院臧振華博士率いる南科考古隊の現在に至る11年間の研究成果である。博物館完成前に、まず人々に先民文化の風采と才華を一目見てもらい、南科の考古文化資産に対してさらに深い認識を持ってもらうことを希望している。

長期に渡る努力と奮闘を経て、行政院長蘇貞昌より南科先史文化博物館の建設を承諾され、教育部もまた専門チームの結成を承諾し、長い間の積極的な推進活動がとうとう成果をあらわした。



南科管理局陳俊偉局長(右4)及び来賓がそれぞれ「先民履跡」を手記に記念撮影(10月26日)